

岩高短歌  
「ワタシタチノウタ」  
月間優秀賞作品 R5④

発行者  
岩出山高校  
国語科

〔七・八月〕青色・夏のもの・海・体育祭

月間賞

夏薫る君の瞳とかき氷透きとおる青は今日を終わらす

第二席

雨上がり空を映したその青はこの手を照らし波立て伝う

第三席

額には少しの汗と笑う声涼しい風と頑張る背中

炎天下無限に広がる青い海夏が来たぞと押し寄せる波

夏本番からんと鳴くは下駄の音空彩るは虹色の花

パチパチと小さな蕾膨らまし線香花火パツと枯れゆく

優良賞

織姫と彦星出会うあの宙に祝わんと咲く七色の花

ひまわりの向く先に何があるのかと見上げて見れば眩しい光

緑玉を場所教えられ海の上棒を用いて割る季節かな

夏の海浜辺に残る足跡が消える前に思い出作り

木々そよぐ青い世界に一人きり四季を感じる生命の息吹

海開きキラキラ光る砂浜で一人寂しく砂城作り

夕立の降りしきる雨矢の如くアスファルト照り艶やかな道